



愛隣幼稚園..... 園だより 12. 10月号

運動会の楽しみ方

暑い(熱い?)!9月でした。子どもたちの体力も限界だったようで、冬でもないのに風邪も流行ってしまいました。もうそろそろ過ごしやすくなって欲しいと思います。こんなに長い夏が続いて、自然界の動植物だっておかしくなってしまうはずと思っていたのですが、秋を告げる“彼岸花”はちゃんと咲いていました。不思議です。彼岸花はどんな年にも、きちんと秋分の日(お彼岸)近辺には花を咲かせています。もし、ご近所に彼岸花の咲く場所をご存知なら、見てあげてください。きっとちゃんと咲いていると思います。

さて、<運動会>です。ながれぼし組は、毎日、リレーの練習をしています。愛隣幼稚園の生活の中では珍しい光景です。毎日練習するなんて。でも、大きい組のリレーだけは特別です。どの子にも全力で走りきる、仲間を感じる、挑戦する、一生懸命、真剣になるということを経験して欲しいから毎日走ります。それがどういふことかは、運動会当日の彼らの姿を見ていただければわかります。大人が感動します。子どもたちはもちろん、大人が夢中になって楽しんで喜んで感動したりして、それが愛隣幼稚園の運動会だと私は思っています。今回の園だよりはそんな運動会の観戦と参加の方法を、私の目線からご紹介したいと思います。

【からだ全体からにじみ出てきます】大人の目から見ると、うまくできていないように見えます。一生懸命でないようにも見えたりします。でもよく見ていると、ひとりひとり現わし方は違いますが頑張っていることが伝わってきます。楽しんでいることもわかります。たんぼぼ組は玉入れの玉を夢中になって拾っています。夢中で夢中で拾っていたら、「びびー」終りの笛が鳴ってしまいました。籠に向かって投げたのは1回だけ……。そんなこともないわけではありません。勝敗には関っていませんが、でも、一生懸命です。ばら組の障害物競走。転んで出遅れてしまいました。走ることができません。でも、途中でやめることもできません。ちょっとふてくされているように見える走り方で、何とかゴールしました。大人の目には“ふてくされて”と映るかもしれませぬ。でも、からだ全体から“これが精一杯”と伝わってきます。

【どの子もわが子と違って】是非、どの子もわが子と違って応援してみてください。そうすると運動会の間中、休む間がありません。飽きることもありません。わが子がたんぼぼなら、来年、再来年の姿を想像しながら。わが子がながれぼしなら、ここまでの2年、あるいは3年を振り返りながら。また、送り迎えの時に会うだけのあの子だけど・・・と思いながら。愛隣ならではのものです。そうやって応援ができるのも。もしその日、一緒に応援している家族が、あの子の事を知らなければ、是非、この機会にご紹介ください。「今、走ってるあの子ね」って。そうして幼稚園中の子もだけでなく、大人たちも仲間になれたらと思います。

【大人も本気で】どの学年も保護者が参加する競技があります。せっかくなので、大人の本気を見せてほしいと思っています。私たちは、子どもたちに「がんばれ！」と言います。運動会だけではなく、いろいろな場面で頑張ってもらいたいと期待しています。でも、子どもたちはそういう大人たちだって“頑張っている”ことを知りませぬ。見る機会がないからです。これはチャンスです。大人の本気はこんなにすごいんだってことを見せてほしいと思います。子どもたちが口をぽかーんと開けて、大人たちの本気と夢中を心に刻みます。“おとなってすごい!” “おとなだっがんばってる” それを見る事が出来る運動会はステキです。あっ、くれぐれもむきにならないでくださいね。“大人げない”にならないようにお願いします。

【是非、ご自身の目で】さてこの運動会を心から楽しむためには、ご自身の目を最大限にご活用ください。ファインダー越しには伝わらないものがたくさんあります。デジタルの記録はわが子を大きく切り取ってくれますが、アナログの記憶はわが子とそれを囲む仲間やそこに流れていた空気をも写し込んでくれます。そして、空いた両手で大きな拍手をお願いします。大きな声援と拍手に包まれる運動会は愛隣幼稚園の自慢です。

さて、あとは良いお天気を期待して、みなさん、お楽しみに。